○ レール締結装置の改良

(1) 目的

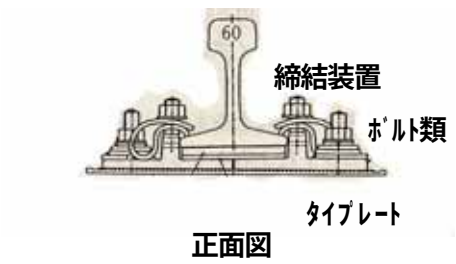
車両が脱線し、レール締結装置が破損しても車輪をレールで誘導できるようにレールの転倒ならびに大幅な横移動を防ぐ。

(2) 概要

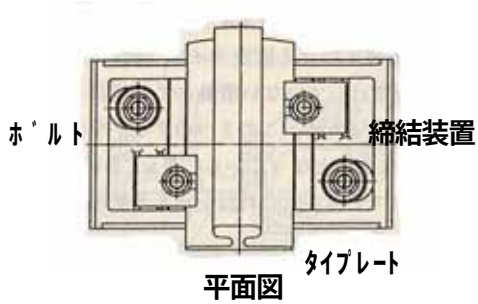
現行のタイプレートを改良し、締結装置の他に新たに以下の特徴を持った座金（スライドブロック）を取付ける。

- タイプレートをスラブ板に固定するためのボルト頭部に直接車輪が当たらないような形状にする。
- 締結装置が破壊されても、レール底部と座金端部の重なりにより、レールの転倒や移動を防止する。
- 車輪が座金端部に当たるときの衝撃を低減させるため端部に傾斜をつける。

現在

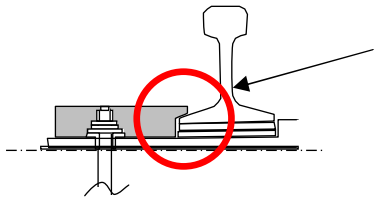


正面図

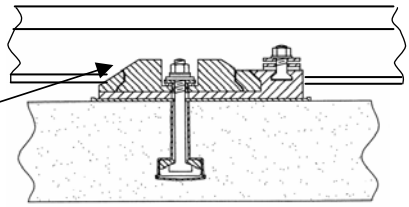


平面図

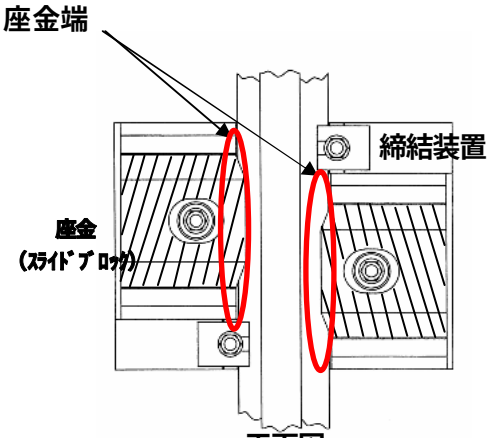
改良



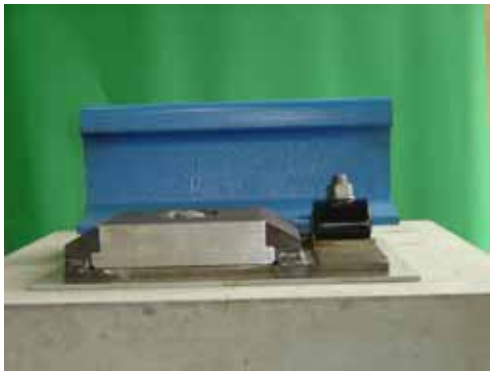
重なり部の正面拡大図



側面図



平面図



試作品（レール側面方向）

試作品（レール断面方向）

今後、試作品による転倒防止機能ならびに耐衝撃性の確認を経て、年度内を目途に試験敷設する予定